

まちの話題・市民の活躍

3/29 将来はオリンピック選手だ

2019 沖縄伝統空手道古武道少年少女全国大会（沖縄県空手道連合会主催）で最優秀賞（剛柔流系小学一年の部）を受賞した上間翔さんと優秀賞（少林流系小学二年の部）の新崎盛悟さん等が市役所を訪れ、桑江市長と比嘉教育長へ受賞の報告を行いました。

桑江市長は「今後も体や心を鍛えて強くなり、将来はオリンピックを目指してほしい」と激励しました。



3/29 北園学園 九州制覇

宮崎県宮崎市で3月10日に開催された「宮崎市長杯第28回春の小学生ドッジボール選手権九州大会」で優勝した北園学園の選手の皆さんが市役所を訪れ、桑江市長と比嘉教育長へ優勝の報告を行いました。

キャプテンの仲嶺伊緒太さんは「全試合、接戦でしたが、一人一人が活躍して優勝できたので良かったです」と優勝の喜びを話しました。



4/3 小さなほくらにも出来ること

愛の泉保育園・愛の泉学童クラブの金城キヨ子園長等が、市役所を訪れ、桑江市長等に第14回西日本国際財団アジア Kids 大賞の受賞報告を行いました。

今回の受賞は、園児等が集めたアルミ缶を換金したお金を建設費として、これまでに6基の井戸をミャンマーに作った功績が認められたことによるものです。

現在、7基目の井戸を作るため活動しています。



4/5 優勝！でも満足しない!!

沖縄東中学校の男女テニス部の生徒等が市役所を訪れ、比嘉教育長へ第18回沖縄県中学テニス新人大会のアベック優勝と第7回全国選抜中学校テニス大会への出場報告を行いました。

生徒からは「全国大会では、慣れない環境で大変だったが、良い経験になりました」「8月にある中体連でも全国大会へ行けるように頑張ります」等、意欲に溢れる声が聞かれました。



3/29 愛称は「BCコザ」

沖縄市雇用促進等施設（旧コリンザ）の新しい愛称「BCコザ」の考案者への表彰式が市役所で行われ、市在住の與那嶺泰弘さんに桑江市長から表彰状が手渡されました。

昨年11月に公募し、66案の中から選ばれたもので、「かつてのまちの歴史を残し活かしたい」という思いと「沖縄市のビジネスの中心地になってほしい」との願いが込められています。



3/27 原爆の恐さと平和の願いを次世代に

日本非核宣言自治体協議会主催の被爆の実相や平和の尊さを発信する「親子記者事業」に、全国からの9組に選ばれ参加した美東小学校6年生の中山華さん、要美さん親子が市役所を訪れ、桑江市長等に活動報告を行いました。中山華さんは「たった一つの原爆で数秒の内に多くの人が亡くなり、落とされた場所から遠い場所でも被害があることを知り驚きました」と感想を述べました。



3/20 手彫りの文字に思いを込めて

小学校卒業の記念にと制作された木製の校歌額が、卒業式の日、島袋小学校へ贈られました。

島袋小学校の第73期の卒業生31人が、保護者と一緒に校歌の一字一文字を彫り、約9か月かけて制作したもので、214の文字が並ぶ大きな校歌額です。

立派な卒業記念品を残し、6年間の思い出と将来の夢や目標を胸に、笑顔で巣立っていきました。



3/18 羽ばたく園児とオオゴマダラ

山内幼稚園を卒園する65人の園児たちが、修了記念セレモニーとして、全員で飼育してきたオオゴマダラの放チョウを行いました。

動植物に触れることで、優しい心や命の大切さを伝えたいという思いから、学校ボランティアの協力により園内のチョウ園で園児と一緒に育ててきたオオゴマダラ。園児たちが一斉に放つと、歓声と笑顔があふれました。



3/21 門出を祝う熱きプレー

チームをリードしてきた6年生に感謝し、卒業を祝うとともに、中学校生活に向けて激励すること等を目的に第8回沖縄市小学生バレーボール大会（沖縄市青少年育成市民会議主催）が、市体育館で開催されました。

試合は、6年生チームの部と新チームの部に分かれて市内のバレーボールチームが出場し、選手は熱戦を繰り広げながらも団結し、楽しく交流を深めていました。



4/7 鼓膜と心を震わせて

沖縄市ジュニアオーケストラの第4回定期演奏会が、市民会館で開催されました。

演奏会は、ベートーベンの「運命」など、誰もが知っている曲を繊細かつ迫力溢れるオーケストラで演奏し、大盛況を収めました。

また、ゲストとして出演し、澄んだ歌声を披露した沖縄市ジュニア合唱団、圧巻の演奏を行った美東中学校吹奏楽部等も会場中を虜にしました。



3/17 年に一度のファンタスティックコンサート

第8回沖縄市吹奏楽フェスティバルが、市民会館で開催されました。

「世代を超えた Brass Sound of the 響演」と題してメインステージの大ホールでは、市内の中学校や一般の吹奏楽団など18の団体によるオーケストラコンサート、サブステージの中ホール前広場では、小中学生11組による管楽器カラオケコンサートと8組によるアンサンブルコンサートで

さまざまな曲が演奏されました。また、会場には、楽器展示・試奏コーナーや飲食店コーナーも設けられ、多くの人で賑わいました。



3/14

県内有名工芸・工房大集合

県内最大級の工芸品の展示販売会「第17回沖縄市工芸フェア」が、3月14日から17日まで沖縄市プラザハウスショッピングセンターで開催されました。

「伝統・進化・融合・発展する力」をテーマに67の県内の工芸・工房が出席したほか、沖縄市工芸コンテスト「Craft in 沖縄市」の受賞作品や市内工房によるコラボレーション作品の展示、工芸品等の制作体験や実演、チャリティオークションも行われ、会場は多くの来場者で賑わいました。



初日にはオープニングセレモニーが行われ、金城宏次工芸フェア実行委員長が、「来場者の皆さんに、作り手の良さを実感していただき、工芸品を愛用してくださるよう期待申し上げます」と挨拶しました。また、「Craft in 沖縄市」の受賞作品10点の表彰式も行われ、グランプリには高橋哲平さんの「クルチのフレーム」が選ばれました。



3/26

伝統工芸を受け継ぐ

国の伝統的工芸品に指定されている知花花織の研修成果展が、3月26日から29日まで市役所で開催されました

成果展では、平成30年度知花花織後継者育成事業の研修生、佐久川千夏さん、仲程晴美さん、町田貴子さんの3人が織った作品12点等が展示され、初日に行われたオープニングセレモニーでは、研修生が作品の紹介や苦勞した点などを発表しました。知花花織事業協同組合の小橋川順市理事長は、「組合を設立して10年でここまで成長してきました。研修生の皆さんには今後組合員として頑張ってください」とあいさつしました。



百花繚乱―咲き乱れるちゃんぶる文化―

2月10日から3月17日までの間、「第41回沖縄市文化祭舞台発表」未来への創造 躍進する文化」が、市民会館、市民小劇場あしびなー、ミュージックタウン音市場等で開催されました。

公演は、しまくとうば部の寸劇を皮切りに、合唱部、ハワイアンカルチャー部、日本舞踊部、大正琴部等が日頃から鍛錬した成果を披露しました。

3月16日には、市民小劇場あしびなーで古典芸能部・空手古武道部・民謡部の三部合同の公演が行われました。かぎやで風節等の華やかな古典音楽斉唱、いちゅび小等の美しい琉球舞踊、力強い空手道等さまざまな琉球芸能が披露され、子どもから大人まで訪れた観客を魅了しました。

最終日には、市民小劇場あしびなーでピアノ部による演奏が行われ、一か月に及んだ沖縄市文化祭舞台発表は、幕を下ろしました。





**今までありがとう
これからよろしくね**

沖縄こどもの国ワンダーミュージアム開館15周年を記念し、4月13日と14日に、ワンダーミュージアムで「ワンダーバースデー」が開催されました。

15年間の感謝の気持ちを込め行われた本イベントでは、訪れた多くのこどもの頭上から、職員たちが「いつもありがとう」と書かれたハート型の紙風船

や紙吹雪を降らせました。

その他にも、ワンダーミュージアムにちなんだユニークな問題を出題した「ワンダー開館15周年特別〇×クイズ大会」や大人気の「スライムをつくらう」のワークショップ、15周年記念グッズ販売等を行い、こども達を魅了しました。



4/8 音楽は言葉、年齢を越え

言葉が通じなくても音楽で心を通わせることが出来ること等を伝えることを目的に、グラミー賞受賞者のスキップ・マーティンさんとおとは保育園の園児の交流会が、同保育園で開催されました。

マーティンさんは、パペットを使いながら「ABCの歌」を歌ったり、トランペットを演奏したりなどして園児達を楽しませました。そのお返しに園児達は「かりゆし太鼓」等のダンスや側転を披露しました。



4/15 安全に登下校ができますように

沖縄市交通安全母の会（沖縄市婦人連合会）の久高清美会長と役員の皆さんが市役所を訪れ、比嘉教育長へ交通安全お守りの贈呈式を行いました。

登下校等の安全を願った手作りの太鼓の形のお守りは、沖縄市交通安全母の会から、各小学校の交通安全講習会で新1年生全員へ贈られます。

沖縄市交通安全母の会は、飲酒運転撲滅のアイキャッチ作戦など、交通安全に関する活動を積極的に行っています。



4/2 クルーズ船戦略アドバイザーを委嘱

中城湾港に寄港するクルーズ船の受け入れを戦略的かつ効率的に推進するため、中部広域市町村圏事務組合理事長の桑江市長が、荻野利明氏（イオンモール株式会社 イオンモール沖縄ライカム インバウンド特命担当）と吉川太朗氏（株式会社EM研究機構）にクルーズ船戦略アドバイザーの委嘱状を交付しました。

両氏は昨年に続いての再任で、今年度もクルーズ船船客の受入戦略等に取り組んでいきます。



3/28 障がい者の安心安全のため

NPO法人沖縄市障がい者福祉協会ピアサポートセンターつなぎが、ケントミファミリー文部科学大臣賞受賞記念祝賀会実行委員会より受けた寄付金で、緊急ホイッスルを150個作り、障がい者等に配布を行っていることの報告会が、市社会福祉センターで行われました。緊急ホイッスルは、身の危険を感じた時に周囲に音で危険を知らせるもので、聴覚障害の方のためのLEDライトがついています。



4/8

災害時等の車両提供で地域貢献

災害時等に車両の提供を受けることで、被災場所への市職員の派遣や物資輸送等の災害活動を円滑に実施することを目的に、沖縄マツダ販売株式会社と「災害時等における車両提供に関する協定」を締結しました。

提供を受ける車両は、環境負荷への影響が少ないクリーンディーゼル車で、同社の土井耕輔代表取締役社長は「万が一の時には、ディーゼル車の機動力を活かして活躍できることを期待する」と話されました。



3/14

助かる命を助けるため

災害時における障がい者の生存率の著しい低さや避難所での生活が困難を極める障がい者が置かれる厳しい状況を踏まえ、障がい者の避難や避難後のケア等を円滑に実施できるようにするため「災害時における障がい者の緊急受け入れ等に関する協定」を社会福祉法人楓葉の会の島粒希理事長と桑江市長が、市役所で締結しました。

今後は、楓葉の会と市が共同で、災害時の障がい者支援のための避難訓練等を行っていきます。



地域のきずなは命のきずな

地域のつながりを強め、自助・共助の力を強めること等を目的に、地域包括支援センターと防災課による「沖縄市避難行動要支援者避難支援事業ワークショップ」を開催しました。

3月18日、市福祉文化プラザでは、津波等の恐れのある高原、泡瀬等に住む人を対象に、19日の市役所では、火事や建物崩壊等の恐れのある八重島、センター等に住む人を対象に行われ、起こりうる災害とその対処方法等話し合いました。



3/26

自分の身を守れるこどもを育む

NPO法人防災サポートセンター沖縄の長堂政美理事長と共同制作者の喜友名曜一さんが作成した津波防災マップの贈呈式が、美東小学校で行われました。

このマップは、長堂理事長と喜友名さんが実際に避難経路を歩き作成したもので、津波発生時、美東小学校からどの経路で避難すればいいのか、避難場所までの所要時間、避難場所の海拔等が写真付きで記され、こどもでも分かりやすいようになっています。



今月の身近な集い処

市内各地の、仲間と集まって楽しく活動している場所を紹介します。
お気軽にお越しください！



今月は、胡屋の公民館を利用して健康体操をしている集まりを紹介します。

広々とした多目的ホールで住民の方が自主的に集まり、13時30分～フラダンス、14時～操体法、15時～いきいき百歳体操といういろいろな取り組みを通して健康づくりに励んでいます。

いきいき百歳体操は手や足におもりをつけ、DVDを見ながら誰でも簡単に参加できる体操となっており、体操のやり方を教えたり、お互いにおもりをつけたりと助け合いながら活動しています。

自治会で用意してくれた茶菓子と会話を楽しみながら、無理のないペースで参加できる集い処です。



活動日：火曜日 13時30分～
場所：胡屋 3-17-4（胡屋公民館）
問合せ：介護保険課（内線 3143）